

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

「分割・民営化」先どりの大量首切り・基地統廃合と奴隷化攻撃

「千葉局1986年度経営計画」を絶対に許さないぞ!

千葉局の六一年度「経営計画」が明らかにされ、具体的には十三日の団交で提案されるが、「経営計画」には、①徹底した合理化を行う、②六二年四月新体制へむけ職員の意識改革を行う。そのためには、職場規律の厳正と称した「しめつけ」Ⅱ処分の乱発をもって臨む、というもので国鉄労働者を合理化と恫喝によって差別・分断し、選別Ⅱ首切りを好き勝手にやろうというのである。こんな「経営計画」など断じて認めることはできない。

大要員合理化・基地統廃合攻撃

「経営計画」は「破綻した国鉄経営を放置しておくことは許されない。六二年四月に向け新体制づくりの準備をし、余剰人員はそれまでに処理していく。これらを解決するには国民の理解が必要だから、安定した輸送・サービス・収支の改善・職場規律を重点に取り組む」を基本としている。

具体的には、運転系統の六一年度「主な合理化計画」として、

輸送改善

- ・輸送改善（含む、列車削減）に伴う要員の見直し

要員運用合理化

- ・業務実態を勘案することによる要員の見直し
- ・業務実態の融合化による要員の見直し
- ・構内入換作業方法の改善に伴う要員の見直し

列車掛の乗務省略

- ・貨物輸送コストの節減のため列車掛の乗務省略
- ・貨物列車の緩急車連結省略
- ・業務機関連統統合
- ・乗務員・検修基地の統廃合

「余剰人員」問題の解決について、

派遣・希望退職を推進し、直営事業の拡大を図るが、それだけでは不十分であり、鉄道外に安定的な雇用

の場合（県内の公的部門・一般産業界）を確保する。広域配転者を千葉局も受け入れ、職場の活性化を図る。というものである。

解決できない「過員」対策

ヤミクモな「合理化」を強行し、無理やり「余剰人員」を大量に生み出す一方で職場の活性化を図るため広域配転を受け入れる」というのだ。

今、政府・当局は、マスコミを動員して政府・自治体・関連産業・民間企業の「過員」受け入れを大宣伝しているが、これほど大ペテンはない。

見出しは、「・県も・会社も国鉄職員受け入れ」とハデであっても「数はあくまで努力目標」ということではないか。その裏で受け入れ側は国鉄用地を要求し、見返りを求め、利権を狙う。そのためわれわれの首を切ろうという。しかし、「余剰人員」対策も「広域配転」もうまくいっていない。

「意識改革」のみ叫ぶ

破綻した「経営計画」

「経営計画」自体、なんら目新しいものではなく、ひたすら「分割・民営化」へ民間以上のサービスなどと「精神」論の注入・その押しつけを主体に「徹底した合理化」「職場規律の厳正Ⅱ処分の乱発」ということを中心に貫かれている。合理化と首切りのための「経営計画」など、どうして受け入れられるか。